

竹久夢二

愛・旅・恋ものがたり

35 地獄のアメリカ生活

中右瑛

アメリカでの生活は決して快適ではなかった。

突如まき起こった日米新聞社の労働争議。翁久允は、元日米新聞社の記者だったという経歴から、その渦中にまき込まれ、夢二とは対立する立場に追いやられた。

夢二の渡航費を立て替えた翁と金銭的なこじれが生じ、周囲の中傷もあって、二人は遂に仲たがひ、ケンカ別れをしてしまうのであった。

もともと、日本的暖昧さ、自由奔放な夢二と、アメリカ式合理主義で苦勞人の翁とは性格や生活態度、考え方がまるで水と油ほどの違いがあり、二人が仲よくやっていたいけるはずはなかった。

大きな後盾を失った夢二。不況のせいもあるが、個展では一点も売れない。日本ではブームを巻き起こした人気者も、アメリカでは無名に等しかった。それでもアメリカ到着早々、夢二の絵が売れたのは、翁が日系人社会を走り回って予約をとってきたからだだった。翁と決別して以来、夢二を擁護する者もなく、夢二はほとんどと困惑し、路頭に迷う。

そんなとき、助け人が現われた。週刊新聞『桑港週報』の社長・安曇徳明や画家の寺田竹雄だった。安曇は世話好きで、人柄の良さで日系人社会では知られた人物。日本から来た知名人のほとんどは安曇の世話になり、ご多分にもれず、夢二も安曇の食客となった。画家の寺田竹雄は、そこで夢二と出会った。

寺田はサンフランシスコから南約百三十マイルの漁師町モントレイやその近郊の文人墨客が年中絶えない紺碧の海、白い砂、奇



『婦人グラフ』(大正13年10月号)
挿絵「春の眼」

岩、奇崖で知られた景勝地ポイント・ロボスや風光明媚な避暑地カーメルなどを案内した。金持ちが集まる別荘地で、夢二創作の日本人形展を開催すればかなりの反響があるのでは……と期待されたが、それも不発に終わった。

ポイント・ロボスに滞在中のある夏の日のこと、夢二は貧血で倒れた。カリフォルニアは気温が高く、日本とは食事の違い、また気疲れがたり、持病の結核症状が少しづつ進んでいた。夢二はやせ細り、だんだんと老け込んでいったのだった。

ポイント・ロボスにおよそ三か月滞在の後の十一月下旬、夢二は安曇に付き添われロスアンゼルスへと向かう。

ロスのメイン街にあるエコホテルの経営者で、「メインのママ」と呼ばれた高橋しげや日米新聞社騒動のときに知り合った坂井米夫記者らの援助で、夢二はロスに落ちつく。

翌年の三月十八日から二十七日まで、リトルトーキョーのオリ
ンピックホテルで個展を開く。余りかんばしい成果はなかったが、
熱烈な夢ニファンの「メインのママ」のお陰で、どうにか小銭は
稼げた。

夢ニはそれを旅費に、アメリカを見限り、ヨーロッパに向かう
決心をしたのだった。

アメリカを去る直前、夢ニは世話になった坂井米夫に枕屏風仕
立ての「青山河」を贈る。榛名山を背景に寝そべったヌード絵で



カリフォルニア滞在中の、夢ニのある日のスナップ



サンフランシスコの夢ニ。
少し老け込む。

ある。この絵は滞米記念の代表作で、屏風の裏には「青山河」と
題した詩が書されている。

山は歩いて

来ない。

やがて私は

帰るだろう。

榛名山に寄す

一九三二年九月 欧州にたつ前夜

坂井記者に

謹呈

夢生

アメリカ旅行中、ずーっと心にのこした榛名山。絶えず望郷の
念にとらわれ、「心はいつもハルナの山に帰りたい」という心境
だった。

夢ニの旅は終らない。なお次の旅先ヨーロッパを目ざして、ア
メリカを去るのだった。

「およそアメリカ西部の私の旅は、不愉快の連続だった。多分その
罪はアメリカにあるのではなくて、自分の方にあるのかも知れな
い」(『旅中備忘録』より)

■中右 瑛 (なかう・えい)
抽象画家。浮世絵・夢ニエッセイスト。1934年生まれ、神戸市在住。
行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内
山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現
在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数



去年登場した「ポートオブコウベ」(148トン)



ポートタワー横、中突堤から出発する

昨年8月に就航したばかりの、神戸ベイククルーズの神戸港遊覧船「ポートオブコウベ」は、神戸港内の遊覧に加えて神戸港沖（大阪湾）にまで船足を伸ばし、数ある港遊覧船の中でもいちばん長い、約50分の船旅が魅力。ポートタワー横の中突堤を出発し、川崎重工や三菱重工を右手に見ながら、和田岬、神戸港第一防波堤を通過して大阪湾に出る。おだやかな神戸港にくらべて少し波が高い大阪湾では、長距離の高速船などともすれちがう。晴れた日には、遠く明石海峡大橋がくっきりと見え、目を移すと平成17年完成予定の神戸空港の建設現場が望める。ふだん親しんでいるポートアイランドや神戸大橋も、海から見るとまた違った

海 船 港

神戸港く大阪湾をぐるり
三ナト遊覧で神戸再発見
神戸港遊覧船「ポートオブコウベ」



川崎重工。左はしに見えるのは国内2番目に大きな浮ドック(船の修理・点検をするところ)

取材日は春霞がかかり 明石海峡大橋の姿はぼんやり それでも大満足の船旅



ゆったりとした船内。写真上は1階、下は窓の広い2階



海上から見上げるとその大きさに圧倒される大型コンテナ船(の先端部分)



国内では初めてのダブルデッキ(2階建)タイプの神戸大橋



船体は胴体部(下部)が2つにわかれている

雰囲気。船内アナウンスで説明される港の歴史などを聞きながらの遊覧は、神戸のベイサイドがあらためて楽しめて、けっこうおもしろい。

神戸ベイクルーズの代表取締役であり「ポートオブコウベ」船長の久我祐二さんは、客船や遊覧船の船長を長くつとめてきた。古くからいっしょに船に乗っていた仲間とともに、お金を出し合って「ポートオブコウベ」を就航。家族のみならずスタッフとして乗船していて、どことなくアットホームで親しみ深い遊覧船だ。船体は「双胴船」という、胴体の部分がふたつに分かれている形。左右が安定し、前からくる波を真ん中にもさばくことができるので、波の抵抗を軽くすることができ。横はばが広いので客室が大きいのも特徴。

オープンデッキでさわやかな海風に吹かれ、夜は客室の大きな窓から望む夜景が美しい。船内の売店では、コーヒー、ジュースのほか、ピラフやお好み焼きなどの軽食もある。旅行者だけでなく、ソフトクリームをなめながら船に揺られる家族連れ、夜景を見ながらロマンチックなときを過ごすカップルも多い。神戸っ子たちにも人気の神戸港クルーズ。

〈鳥羽〉

コウベ タウン タウン

タンゴ、オペラ：いま神戸で最も熱い文化発信基地「ピアジュリアン」

杉本彩 タンゴアルゼンチーノ・グインモラル／フェニーチェコンサートV.O. 1〜尾崎比佐子オペラを歌う〜

関西で活躍するクラシックの音楽家が数多く出演する、神戸で唯一のクラシックライブハウス「ピアジュリアン」。毎夜行われる若手音楽家によるクラシックライブもさることながら、最近では有名芸能人や著名なクラシックアーティストを招くなど、精力的な展開が話題沸騰中。

2月24日の杉本彩・タンゴ・アルゼンチーノ。彼女のダンスにかける情熱は、日本テレビ放送の「うりなり」でご存知の方も多いのでは？



男と女の愛の会話を官能的に表現する杉本彩さんとSINGOさん。女同士だて見惚れてしまつて色づききりだ

昨年12月に六本木で開催後、関西では神戸「ピア」に初登場。「以前からこんな、汗が飛び、お客さんの体温を間近に感じるような会場で踊ってみたかった」とは、杉本さん。なるほどぎゅーとひしめきあった客席には、ステップを踏む振動や熱い息づかいが聞こえてきそうなほどの接近ぶり。男性のリードによって即興で踊るダンスは情熱的なリズム。シャンソンやトークも交えての楽しいショー、衣装など杉本さん自身によるディレクションもみどころだ。

さらに、クラシックファン必見の企画も新登場。3月19日に「ピア」初の試みとして開かれた「フェニーチェコンサート」。昨年のアルカイックホールでの「ランメルモールのルチア」の好演も記憶に新しい実力派ソプラノ歌手、尾崎比佐子さんがその第一弾。尾崎さんが「夜の女王のアリア」（『魔笛』）、「ヴィリアのうた」（『メリー・ウィドウ』）を熱唱するとゲストであるバリトン歌手井原秀人さんが6月公演の「エウゲニー・オネーギン」からの1曲を先行披露。まさに「ピア」でしか実現不可能の企画に、観客も感激しきり。

アンコールには「メリー・ウィドウのワルツ」で応え、「この瞬間が歌手としていちばん幸せです」と尾崎さんは語った。



フェニーチェコンサートの第2部は尾崎さんを囲んでの食事タイム。コンサートの感激を直接伝えるファンひとたち。素朴な質問も飛び出し、わきあいあいのムードで

■今後のスケジュールに関しては、ピアジュリアンのホームページへアクセスしてみよう。
<http://pia-julian.com>

神戸の春の風物詩

「桜より一足早くお花見を」

第14回アーモンドフェスティバル

アーモンドの花って見たことある？
まるで花笠音頭の笠についてる作り
花のように鮮やかなピンク。桜に似
ているけれど花はひとまわりほど大
きい。阪神沿線に住まう人びとは早
くからこの催しを知っていて、毎年
楽しみにしている行事。

3月23・24日と今年もアーモンド
フェスティバルが開催された。阪神
電鉄「深江」駅から送迎バスにゆら
れて東洋ナッツ食品工場の庭園に到
着。でも、しかし、アーモンドの花



一番の楽しみは揚げたてアーモンドが1カップ100円で買える。速、食べる。カリカリと香ばしくこれは揚げたてのときにしか味わえないもの

はどこに？ 異常気象で桜前線もい
つもより10日も早かった今年の春。
アーモンドも自然の気候には勝てま
せん。すでに大きい木の花は散って
しまっていた。かろうじて若木に色
鮮やかな花は残っていて、少しの鑑
賞を楽しめた。

でもフェスティバルはいろんな企
画が揃っているの、「花よりだん
ご」とばかり食品販売テントに直行
するひとびと。入場すると最初に
「アーモンドの種」がいただける。
テントではいろんなナッツやドライ

フルーツが販売されている。そのほ
かアーモンドの飲料やアーモンド入
りコロッケやラーメンが人気。近
所の工場からはMCCのレトルトカ
レー、豚マン、アーモンドケーキや
クッキーも販売されていた。アーモ
ンドの苗木も売られだした。工場
の2階では、アーモンドきな粉、ビ
スタチオきな粉をまぶしたつきたて
のお餅も人気。

途中で降ってきた雨に、お絵描き
大会に参加する小学生も残念そう
だった。

東洋ナッツ食品の先代、故中島泰
介社長は、1978年にアメリカ・
カリフォルニア州から譲り受けた
アーモンドの苗を工場庭園に植え、
丹精に育てようとした。にもかかわ
らず、アーモンドの花はバラ科の落葉高木、桜より10日
ほど早く咲くので、梅に次いで春を告げる花とし
て阪神間のひとびとに親しまれている



らず、六甲おろしや浜風にさらされ、
温暖なカリフォルニアのように育
たなかった。やっと残った苗、8本
に初めて花がついたのは7年後。そ
して社員や近隣の工場で働くひと
びとの「お花見」が自然発生的に始ま
った。アーモンドフェスティバルは
1986年から庭園を一般開放して
行われ、約13000人が来場する。
名古屋、九州などからもうわさを聞
いて来る方もいるとか。

コウベ タウン タウン

**卒業おめでとう！
甲陽で学んだこと、私たちは忘れない！
甲陽音楽学院卒業コンサート
フェアウェルライブ2002**

甲陽音楽学院を今年3月に卒業する生徒たちによる卒業コンサートが行われた。たっぷり5時間以上にわたる白熱のライブ。高い演奏技術はもとより、個性的で、エンターテイメント性たっぷりの楽しいステージが繰り広げられた！

3月10日、神戸朝日ホールでのフェアウェルライブに出演したのは、学内オーディションをみごと通過した28バンド。ジャズピアノアンサンブル、ボサノバ、ロック、ジャズオ

バイバイ！

ーケストラなどさまざまなジャンルで、ダンスあり、パフォーマンスあり。出場バンドの中には、気の合う仲間で結成した個人バンドや、すでにライブハウスなどでも活躍している生徒たちもいて、学校の卒業コンサートというワクを越えて楽しめるステージとなった。

六甲でジャズスクールとして誕生した甲陽音楽学院は、国内外で活躍するプロのミュージシャンを講師に迎えたり、アメリカのバークリー音楽大学と提携を結ぶなど、音楽を学

ぶ生徒たちには最高の教育環境をもっている。現在では専攻科目も充実し、アーティストをめざす「コンテンポラリーミュージック専攻」、音響エンジニアを養成する「PA・レコーディング専攻」など、音楽界で活躍する人材を多く育てている。

その中からさらにオーディションを勝ち抜いた生徒たちの卒業ライブだけあって、とにかく楽しく、ときにうっとりときどき惚れてしまうほど。卒業後は、すでにライブ活動が決定している生徒や、留学を決めている生徒たちも多くいて、彼らの将来に、大きな期待をしつつ、最後は卒業生全員がステージに立って、「バイバイ！」「おめでとう！」の拍手が鳴り止まなかった。



写真上) 司会は塩崎裕先生、山本あおい先生(写真中)最後は卒業生全員がステージにのぼった(写真下)迫力のある演奏を聴かせてくれた甲陽ジャズオーケストラ



卒業生たちの実力は年々あがっている

メンバー全員アフロヘアで登場、ノリまくった演奏に観客も巻き込まれた「ボンバーヘッズ」



燦 KOBECCO

別冊・四季号・WINTER
かがやく神戸と…創刊Ⅱ号



季刊「^{サン}燦 KOBECCO」創刊2号、
絶賛発売中!

創刊Ⅱ号

只今、年間購読を受けつけています。ご希望の方は、右記までご連絡ください。

神戸のGENKI世代に贈る——。 「^{サン}燦 KOBECCO」創刊第2号

“かつての月刊神戸っ子を彷彿とさせて懐かしい”と、シニア世代を中心に好評だった創刊号。さらにパワーアップした、創刊2号をお届けします。ご期待ください。

・A4変型 84ページ・年4回(季刊)発行
・定価1000円(税込)・年間購読料5000円(送料込)

第2号目次

特集〈1〉

神戸医療産業都市づくり

特集〈2〉

平成14年度神戸酒徒番付発表(経済人/文化人)

- ◎人間讃歌(第2回) 田辺聖子<作家>
- ◎エレガンスファッション(第2回) 藤本ハルミ
- ◎ビジネス最前線

- ・表紙/小磯良平
- ・タカラヅカ夢絵本/永田 萌
- ・太田忠道と楽しむ食文化
- ・懐かしの神戸アルバム
- ・大正ロマン 昭和モダンの抒情画家たち/中右瑛
- ・エッセー/貝原俊民
- ・うちの孫 など

月刊神戸っ子編集室 ☎078-331-2246 ☎078-331-2795



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



あかちゃん : 原 ^{ゆう}結羽 ちゃん
(平成12年10月27日生まれ)

パ : 武伸 さん

マ : 里子 さん

「誰からも好かれる元気な子に育ってね」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)

市バス上沢4 停南スグ

●駐車場完備●

KOBE SNAP

コウベ スナッ プ



芦屋から始まる「医・薬・食同源」時代 3月17日、家郷菜館「海皇」がオープン。中国食文化研究者・潘式舜（写真右から2人め）さんの提案する中国家庭料理「媽媽」が新しい人気メニュー

田崎真珠2002スプリングコレクション 3月15、16日田崎真珠春の展示会が新神戸オリエンタルホテルで開催され、「Colors」をテーマに真珠とクリスタルを紹介



奥村孝弁護士「漫語漫字展」 古色蒼然をもじって「誤食騒然砒素入りカレーも食べました」と、奥村弁護士は書でひょうひょうと世相を切る。3月16日、元町アートギャラリーで自分流を披露

神戸吉兆旧居留地にオープン 日本料理「神戸吉兆」が、3月17日旧居留地明海ビル地下1階にオープンした。大丸神戸店と提携。テーブル席、個室、和室と粋な造り



神戸風月堂社長・下村俊子さんを囲んで 神戸女性経営者倶楽部の3月例会は、下村俊子会長の創作和菓子「源氏の由可里」に関するビデオ鑑賞と講演。神戸の文化を育む女性リーダーの心意気をうかがわせた



美しく繊細なちぎり絵 和紙ちぎり絵「しゅんこう」の講師・田中悠子さんの個展が2月14、20日大丸神戸店美術画廊で、ピーナスブリッジなど神戸の風景を描いた大作も



上原まり、瀬戸内寂聴の「源氏物語」で新境地を 3月13日、神戸出身で元宝塚スター、現在は琵琶奏者の上原まりさんが瀬戸内寂聴さんの「源氏物語」を演奏と朗読。演出の久世光彦さんとも



2002年神戸二紀展 2月12日～17日県民
アートギャラリーで（写真は初日）。知念正文、
南和恵、工藤雅子、桑畑佳主日、石田葉子など
の個展が各地のギャラリーで始まった



嵯峨御流いけばな展開催 神戸司所のいけば
な展「春を奏でる集い」が2月27・28日にホ
テルオークラ神戸で開かれ、井戸県知事も代
表の吉田泰巳さんを訪問。大花器にいけられ
たアジア的な花々を鑑賞



竹中郁と子どもの詩展 3月12～17日、兵庫県
現代詩協会の主催で、神戸王子市民ギャラリー
にて。16日に画家・石阪春生さんと詩人・安水
稔和さんが竹中郁を語る対談



2001年関西二紀展受賞作家展 2月14
～19日、ギャラリーはりかわで恒例の関西二紀
展受賞作家展が開かれ、個性的な受賞作にオ
ープニングは活気づいた



トアギャラリー賞の南和恵展開催 K O B E の
デュイといわれている南和恵さんの個展が、2
月16～21日トアギャラリーで。風を感じるさわ
やかな絵は軽やか

ふれあいの祭典閉会式 県民がつくる県民の
祭典をめざし、第13回ふれあいの祭典は約3
00万人を動員。閉会式は3月8日兵庫県公
館で。15事業の人々がふれあい大賞を受賞した



スポーツのさかんな明るい都市をめざして 3
月10日、「スポーツNPOサミット」が開催。スポ
ーツ関係者などが全国から参加



シーズン開幕を前に 3月19日、新神戸オリエ
ンタルホテルで「オリックスブルーウェーブ激励
の集い」が行われ、石毛監督らが抱負を語った



ポケット ジャーナル POCKET JOURNAL

まやケーブル・ロープウェイ
再開1周年



車体のイラストもかわいいケーブルカー

3月17日で、復旧・再開1周年を迎えたまやビューライン夢散歩(まやケーブル・ロープウェイ)。急勾配を登るケーブルカー、雄大な山並みの上を行くロープウェイは、摩耶山・六甲山観光をする人々に賑わい、利用客は2月現在で46万人以上と大人気。再開1周年を記念して、六甲山牧場や神戸市立森林植物園などでたくさんのイベントが行われた。3月21日には「摩耶

詣祭」が開催。摩耶山に江戸時代から伝わる風習で、旧暦の2月に、飼馬の息災を祈願するため「花かんざし」を馬に飾り天土寺に参拝するという「摩耶詣」。当日は、市民やハイカーたちが、山の動物たちとの共生と山の安全を祈って、花で飾られた六甲山牧場の馬と一緒に天土寺にお参りをした。

桜の時期が過ぎたらいよいよ新緑の季節。緑の息吹を満喫しに、ロープウェイに乗って摩耶山にでかけよう!

■まやビューライン夢散歩
神戸市都市整備公社
078・271・1160

ポートウオッチングに
参加しませんか
今回は「旧居留地とワイン」

「神戸港を考える会」が主催する、港を歩いて歴史を探索するポートウオッチングは、回を重ねるごとに参加者も増え、昨年には震災後の港のようすをしるした「KOBEPoTトウオッチングマップ」を発行。

第26回ポートウオッチングは「神戸のルーツと旧居留地、黄昏ワインクルージング」をテーマに、旧居留地界隈と、その北側にも足を伸ばし、生田神社の宮司であり神戸史談会会長の加

藤隆久さん、三宮神社宮司の清水達夫さんなどに神戸のルーツを解説していただく。そのあとは世界のワインを楽しみながら「ポートオブコウベ」号でのクルージングという楽しみな企画。ぜひ参加してみよう。



歴史の深い神戸港界隈を歩こう

■神戸港を考える会
「気まぐれカモメ」内 角本穂
神戸市中央区元町通2-3-14
078・333・1892

ギャラリー「春志音」で
クラフトアートフェア

ギャラリー「春志音」は、異人館が建ち並ぶ北野通に、昨年2月にオープンした。芸術家た



木々の木漏れ日がさわやかな
ギャラリー「春志音」

ちの活動を応援する拠点としてだけでなく、神戸の観光地・北野をもっと盛り上げたいという願いから、店の前の広場を使って「北野クラフトアートフェア」を開催している。これまで、陶器やアクセサリー、万華鏡など、手作りの作品が作家たちみずからの手で販売され、立ち寄った観光客などにも大好評。

4月にはギャラリーもリニューアルオープン。絵画などのほか、映画「タイタニック」で実際に使われた小道具やスポーツ選手の愛用品なども常設展示される予定。クラフトアートフェアも引き続き行われ、春からの出品者を募集している。開催日は毎週土・日曜日、10時〜17時。ガラス・工芸・アクセサリー・ポストカードなどのジャンルを問わず、オリジナルの作品のみ販売。出展料を無料で、売り上げのあった場合は25%をギ

誕生日ありがとう運動
「希望」を持続して!

久しぶりに彼女たちを訪ねました。2年ほど前まで、いっしょに仕事をしていたグループの人たちの職場です。在宅支援センターの広い床は、当初と変わりがなく、光って掃除がいき届いています。彼女たちの仕事ぶりが目に浮かびます。

突然の来訪者を笑顔で迎え、早速みなさんの最近のニュースなど次々と聞かせてくれました。その中で、近く開所するという「福祉工場」の募集に、この職場の人々もそして他の仲間たちやグループの人がたくさん応募したけれど、結局みんなだめでしたとのこと。淡々と話すその表情ににじむ「希望」が強く胸をうちます。

2003年度から変わるといわれる福祉制度。何よりこの人たちの希望に応えられる社会でなければと強く思ったことでした。

誕生日ありがとう運動本部
〒650・8790
神戸市中央区中町通4・2・11
村上ビルB1
FAX 078・360・1257

ヤラリーに還元すること。くわしい内容なギヤラリー春志音まで。

■有限会社ギヤラリー春志音
神戸市中央区北野町2-3-22
☎0798・252・0885
(担当：岡)

栄町・海岸通 まちづくりへの夢

「ミナト元町タウン」「栄町・海岸通」は、こだわり派のショップやおもしろい雑貨屋、おしゃれなバー、レストランなどが続々と登場し、注目を集めている。

香り高いアイス専用インスト アントコーヒーUCCから

UCC上島珈琲株式会社は、冷水にもさつと溶けるアイス専用のインストアントコーヒー「UCC JUST SEASON アイスコーヒー」を発売。昨年新発売され、家庭やオフィスで大人気だった同商品225gと、新しく少量サイズ100gが今年4月に新発売される。厳選された深炒りのコーヒーを原料に使い、深いコクと香りが特徴。ミルクと混ぜるとさらにおいしく、アイスカフェ・オ・レにも最適。

また同じく新発売される「U

るスポット。通称「乙仲通」といわれ、店主たちの中から新しいまちづくりへの取り組みの声があがっている。

3月16日「乙仲通まちづくりフォーラム」がWADAホールで開催された。乙仲通のまちづくりのこれまでの取り組みや現状が報告され、神戸ファッション協会の金崎章さんの「ファッションスポットの先進事例調査」の基調報告のあと、理想のまちづくりの将来像を語り合う意見交換が行われた。バー「Moon Lite」オーナーの

CCスーパーアロマ アロマリッチ」は、コーヒーの豊かな味わいをいちばんひきだしてくれ、といわれているドリップ抽出を忠実に再現し、香り豊かな本格レギュラーコーヒーが手軽にできる。香りと味わいをゆつたりと楽しめる新商品をお試しあれ。



UCC JUST SEASON
アイスコーヒー(100g)

■UCC上島珈琲株式会社
神戸市中央区港島中町7-7-7
☎078・304・8813 (広報)
<http://www.ucc.co.jp/>

穴戸哲也さんや株式会社カーアツシユの萩原和美さんのほか、乙仲通界隈の店のオーナーや事務所をかまえる会社の代表などがゲストスピーカーとなり、まちづくりの夢が語られた。「新宿や芦屋などのように、風俗店が進出できないような規制をつくり、きれいなまちづくりをしていきたい」などの声も。ウォーターフロントのファッショントウンとして、これからのまちづくりに期待できそうだ。



まちづくりへの夢を語り合い、盛り上がった意見交換会

■みなと元町タウン協議会事務局
神戸市中央区元町通3-13-1
☎08・391・0831

今年こそ！「花火撮影を マスターしよう」

花火シーズン到来！を前に、神戸カメラマン協会では花火の撮影の特別写真教室を開催。夜空にあがる美しい花火。でも写真におさめるのは至難のわざ。

夜の撮影の基礎をきちんと学んで、今年こそ美しい花火をカメラにおさめよう。スライドとプリントでわかりやすく解説してもらえるので、初心者でも1日でマスターできる。

神戸カメラマン協会は、アマチュアカメラマンの資質と技術の向上をはかることを目的に昭和55年に設立された。新聞の報道カメラマンのOBを中心に、おもにボランティアで運営されている。写真教室と撮影会は毎月1回開かれており、今回は一般も参加できる特別教室。写真指導は神戸カメラマン協会常任理事の山本靖夫さん、山崎真司さん。

とき／5月26日(日) 10時
ところ／神戸海員会館 第5会議室
JR「神戸」駅から徒歩5分(ハロイワークとなり)
参加費／予約2000円 当日2500円
※「神戸」子4月号を見た」と申し出れば各500円引きになります。



神戸まつりやポートピアランドなど、花火イベントが目白押し

■神戸カメラマン協会
神戸市垂水区南多聞台1丁目9-A
309(山崎)
☎078・781・4711

神戸の本棚

「美術館へもつと光を 神戸・姫路からのアート便り」 伊藤 誠



神戸新聞総合出版センター
本体1600円+税

美術館ってなに？美術をわかってどういうこと？美術展の成功の秘訣とは？神戸や姫路の美術館事情を例にとりながら、わかりやすく「美術館と美術」を語る。伊藤さんと芸術家との交友録なども興味深い。

「信頼の名医 形成外科 美容外科」

大竹 奉一



ブレーンセンター
本体3000円+税

上手な形成外科医・美容外科医の選び方・かかり方を徹底検証。大学医学部形成外科教授を中心に、形成外科医25名、大病院から街のクリニックまで、日本を代表する美容外科医27名にインタビュー。治療時間、治療までの期間、特に美容外科では料金などの基準も明記されている。「二般むけの形成外科・美容外科の本」としては初めての完成度の高いもの」と、医師からも絶賛されている。



2号線沿いにできた新しい「ウェルブ六甲道」の1階



家具や調度品にもこだわりが見られる座敷席

おいしくて身体に良く、ヘルシーな韓国家庭料理を食べさせてくれる「さらんばん」は、韓国から日本にお嫁にきたオーナーが、食材から店の内装にまでこだわってお店。2月に1R六甲道に移転オープン。

辛いだけじゃないのだ
韓国家庭料理
「さらんばん」

アイロンや生活道具など実際使っていたものを持ってきて飾られていておもしろい。韓国の古い本を写した壁紙や、机やカウンターのちよつとした飾りにも注目。

キムチはもちろん、わかめやわらび、キキョウの根、みそなどはすべて韓国から取り寄せたもの。生きたまま送られてくるタコのお刺身は絶品。本場のみそなべ（800円）、にらチジミ・じゃがいもチジミ（各700円）、キムチチゲ（800円）、韓国春雨（チャブチュ・500円）、たらのアラを使ったチヤンジャ（400円）、豚骨付カルビなどもある。ナジミ、石焼きビビンバなど、季節替わり10品以上の献立が並ぶフルコースは2500円、ランチは定食が800円と値段もお手頃。ドリンクは生ビール（500円）のほか韓国のにこり酒「マッコリ」（グラス500円）も。

第三ノ間	第二ノ間	第一ノ間
さらんばん	さらんばん	さらんばん
グランド六甲	グランド六甲	グランド六甲

■韓国家庭料理「さらんばん」
神戸市灘区桜町ウェルブ六甲道
5番街1番館
☎078・843・1067
11:00～14:00
17:30～24:00（L.O.23:00）
無休



「イタリアの家族のように、あたたかくて和やかな食事の時間を」とシェフ（左）、鈴木店長（右）

明石海峡大橋を望むティオ舞子7階に3月9日オープンした「イル・ガッロ」。太陽がさんさんと明るく降り注ぐ店内は開放的で、ゆったりムード、まるで地中海の海辺のテラスでまどろんでいる気分になる。

オープンキッチンで陽気なリストランテ、舞子に誕生
「イル・ガッロ」

オイルソースのバスタ（1650円）など、イタリアン好きもちよつと好奇心がくすぐられるメニューがいっぱい。

本場に忠実な味を直球勝負で提供したいと意欲的なシェフの自信作をぜひ一度お試しあれ。

ランチ1200円、ディナー12500円、アラカルト600円。



■リストランテ「イル・ガッロ」
神戸市垂水区東舞子町10・1
ティオ舞子7F
☎078・785・6626
11:00～22:00（L.O.21:30）
無休

シユークリームとプリンのお店
「高虎」が元町駅前に

昨秋に荳屋ラポルテにオープンして以来、荳屋マダムたちの圧倒的支持を受けている「高虎」が元町駅山側に今春オープン。

人気の秘密は、すぐ目の前で焼いているシユールのふんわりあまい匂いとその場でクリームを詰めたできたてが買えること。有名シェフが考案したシユークリームは、ぜいたくな素材を使った高級感のある味わいながら、価格（シユークリーム1

■荳屋「高虎」
神戸市中央区北長狭通4・1・1
☎078・391・8008
10:00～21:30 無休



夕方には特に行列ができるほどの人気。スタイリッシュな黒のハザード、ミユシャの絵が目印



おみやげにしても喜ばれるよ

30円）はお手ごろで、パツケージもおしゃれ。

さくさくハードなシユードにまろやかなクリームがとろーり。キャラメルシユークリームやクッキークリームなどシユードやクリームにも変化があつて、買い物帰りや会社帰りにつついて立ち寄ってしまいたくなるお店。なめらかな舌触りの焼きプリンも絶品（160円）。

荳屋ラポルテ	荳屋マダム	荳屋	荳屋	荳屋
イヌローカ	イヌローカ	イヌローカ	イヌローカ	イヌローカ
イヌローカ	イヌローカ	イヌローカ	イヌローカ	イヌローカ

神戸クラブ その1

正式の日本名を神戸外国倶楽部と言う。トアロード北のつき当たり
の巨大なヒマヤ杉が聳える山裾に
三千坪以上の敷地と百三十年の歴史
を誇る外国人会員施設とあって市民
には縁が薄い、近頃は地域社会と
の交流の集いや会員紹介によるパ
ーティーにも利用されている。一八六

九年（明治二年）に誕生した神戸ク
ラブは居留地で活躍した貿易商の社
交場として栄え、神戸の舶来文明、
ハイカラ文化の発信基地として大き
な役割を果たしたが、その歴史は兵



1870年頃の京町筋。向かって中央がマソニックホール。その奥がオリエンタルホール、隣りが神戸外国倶楽部の前身。



庫開港の昔に遡る。郷土史家ハロルド・ウイリアムズ著『THE KOBECITY CLUB』掲載の倫敦ニュースによれば「一九六八年元旦（旧暦慶應元年十二月七日）神戸沖に集結せる英艦隊十二隻、米艦四隻等、正午を期して二十一発の礼砲轟く中に兵庫は開港せり」とある。

外交官や軍隊が上陸し、各国の商人達も続々と陸に上がったが、居留地は未完成の状態、商人は仮の宿所を寺や土蔵、漁師小屋に求めた。近頃はレトロモダンなブームとやらで旧居留地界隈が賑わっているが、開港時はウイリアムズが sandy waste landと呼ぶように正に砂と泥の荒地であった。幕府は生田川の西、鯉川の東、西国街道の南の範囲で居留地の形成を計画したが、地ならし、盛り上げ、水はけをよくする土地構成に開港後九か月を要した。その後、英人技師J・Wハート等により荒涼たる湿地帯は、商館、領事館、銀行、ホテル、クラブ等、ネオ・ルネサンス様式の見事

な街並みに進化変身し、この近代的都市計画がその後の神戸の町づくりの原形となるわけである。後年、治外法権撤廃で居留地返還の際、フランス領事が「日本が外国人に渡した全く無価値の土地を今、我々は立派な町に変えて返却する」と皮肉ったという。

開港初日の有様は英国司令官J・Wガンビアの手記によれば「夜迄に何列もの掘建小屋が建てられ、既に開業中の居酒屋は大繁盛で夜更けには平穏な漁村は日本人と西洋人が入り乱れ、酔っ払いにけんか、女を追い掛ける輩などで混乱を極めた」とある。波止場のすぐ前の神戸村庄屋生島家の屋敷にアメリカ領事館が設置され、米国旗が年中掲げられていたので American wharf とよばれ今もメリケン波止場として名残りを留めている。

東洋の新天地に上陸した商人達は貿易業務を開始し、急造された洋式ホテルや商館に集まり、情報の交換や社交のための「クラブ」の前身が形成され始めた。最初にできたのはドイツ人のジャーマンクラブで、やがて英国人二十七名が発起人となつてイングリッシュ・クラブが生まれ、神戸クラブの草分けとなる。しかし当時の社会情勢の下での商業活

動は簡単には進まなかった。何しろ最寄りの国際電報局はセイロンのコロンボにしか無いし、本国との通信連絡は船便で何十日もかかる時代である。勢い込んで乗り込んできたものの、未知の国情、未完の施設環境を前にしてのビジネスは思うにまかせず、兵庫を捨てて他の有望な港に移ろうとする動きすら出始めた。折しも当時の日本は鳥羽伏見の戦の最只中、政情不安と尊王攘夷の風吹く中、官軍の攻撃で幕府の拠点、大阪城は落ち、周囲の寺院等に設けられた外国公館も破壊され略奪が行われた。先に大阪へ移った商人達は外国海軍の庇護を求めて神戸に避難したが、尚更、人心不安は拡大した。燃えさかる大阪城の火を岸壁から眺めつつ彼等は異国に賭けた夢が潰えるのを感じていた。悲観のうちに帰国する者あり、また逆境の中で敢えて事業に挑む起業家あり。失意の港はやがて後年、世界有数の国際貿易港として繁栄の道を辿るが、その神戸の有為転変の歴史が今、始まろうとしていた。

（つづく）



なかむら・ともかず
一子相伝の味・京都「なかむら」の長男に生まれる。有限会社御影貿易商事取締役社長・田崎真珠株式会社顧問

市民映画劇場30周年記念作品「白夜」

マルチェロ・マストロヤンニ、マリア・シエル、ジャン・マレーなどの名優が共演した1957年のモノクロ映画。

幻想的な夜の港町で、ひとりの孤独な青年が、運河にかかる橋のもとで若い娘と出会う。ドストエフスキーの初期の中編小説を映画化、ネオ・レアリズムの作家として知られていたルキノ・ヴィスコンティが、かつてない幻想性とロマンティズムを示した作品。ヴェネチア映画祭銀獅子賞受賞。



1957年 イタリア・フランス合作
※チケットプレゼントあり

5/17(金)18(土) 11:00/13:00/15:00/17:00/19:00

神戸朝日ホール(大丸より東へ50m)
一般1500円(前売1300円) 中高生1300円
小学生・身障者・シニア1100円
映画サークル協議会 ☎078-331-8538

いるかHotel公演「かぶせるかいじゅうV」

劇団遊気舎の役者・谷省吾が立ち上げた劇団「いるかHotel」の第7回公演。

かぶせるかいじゅう(カプセル怪獣)は、カプセルに入った怪獣で、ウルトラセブンが変身できないときに代わりに戦ってくれるやつ。カプセルには5つ入れるところがあるが、入っているのはなぜか4体。しかもウルトラマンセブンに登場したのは3体のみ。ナゾの5番目のかぶせるかいじゅうをめぐる物語。作・演出は谷省吾。



若手を中心としたメンバーたちの意欲的な舞台

4/19(金)19:30 20(土)15:00/19:00 21(日)15:00

Sonic Hall(北野・神戸電子専門学校地下)
一般2700円(前売2400円) 中高生1500円
いるかHotel ☎0798-64-6212(谷)

「馬へのオマージュ」展

「馬」に関する写真・映像作品を通して、人と馬との関わりを探る展覧会。

古代から都市や農村で馬はなくてはならないものとして活躍してきた。近代化によって人間とともに生活する馬は減っていったものの、その美しい姿は人々を魅了し、多くの作家がその姿をオマージュを込めて撮っている。それらの写真やオブジェのほか、パリの馬具工房から華麗な発展をとげたエルメスのコレクションの中から馬に関わ



1902年
Hermès Archives, Paris

るオブジェを一挙に公開。日本はもとより、パリのエルメス本社からも門外不出だった作品も展示される。お見逃しなく。

3/16(土)~5/26(日)

10:00~18:00(入館17:30まで) 水曜休館
神戸ファッション美術館(六甲ライナー「アイランドセンター前」駅下車)
一般600円 小中高生・65歳以上400円
☎078-858-0050

組踊 沖縄の伝統芸能

沖縄の古典舞踊である琉球舞踊とともに、沖縄文化や琉球王朝時代の古典芸能の紹介・普及につとめる関西琉球舞踊研究所の定期公演。

沖縄の本土への復帰30周年、兵庫・沖縄友愛提携30周年にあたる今年、歌と踊りの音楽劇「組踊」、王朝の式典で披露されていたという「おもろ唱歌」の継承者による客演が企画されている。にぎやかな沖縄民謡とはひとあじが違った琉球王朝文化に触れられるステージ。



琉球王朝時代の衣装も興味深い ※チケットプレゼントあり(締め切り日注意)

4/21(日) 14:00開演

アルカイックホール(阪神「尼崎」駅下車)
1階席5000円 2階席3000円(全席指定)
関西琉球舞踊研究所 ☎06-6433-5789

EVENT SCHEDULE

TEL.078-392-0146

- TEL.078-391-8081

- TEL.078-251-5147

- TEL.0798-34-2872

- TEL.078-332-1963

- TEL.078-333-6768

- TEL.078-242-0100

- TEL.078-242-5888**